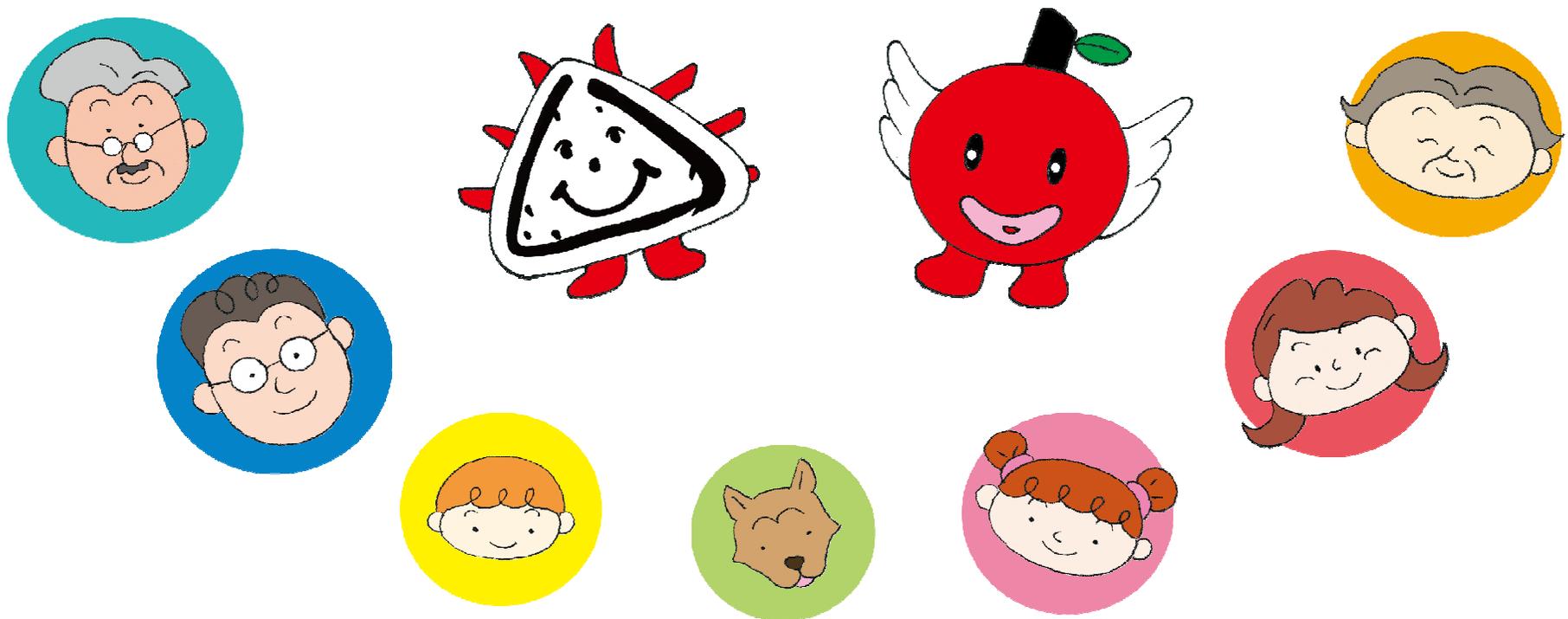


藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略

施策パッケージ【平成29年度実績および平成30年度目標】



藤 崎 町

(藤崎町総合戦略会議による事業評価後)

1. 藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策パッケージについて

藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略施策パッケージは、平成27年度から平成31年度までの5年間を計画年度とする藤崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略に示した主要施策に基づき、具体的に実施する事業等を定めたものです。施策パッケージには、藤崎町総合計画基本計画（ふじさき未来・夢プラン）の実施計画（アクションプラン）に定めた事業や新規に実施する事業の中から、数値目標を設定でき、総合戦略の推進やKPI達成に有効と考えられる事業を掲載しており、PDCAサイクルにより効果検証することとします。

【KPI】 key performance indicator

重要業績評価指標。業績評価を定量的に評価する指標。達成目標に対し、どれだけ進歩があったかを明確にする指標であり、これをもとに進捗状況と業務改善を行う。

【PDCAサイクル】

事業の推進やリスクマネジメントを円滑に行う手法。Plan（計画）－Do（実行）－Check（確認）－Action（行動）の4段階の構成となっていることから、PDCAと称されている。

2. 施策パッケージの見方について

(1) 担当課室等による目標設定および検証

○評価指標・・・事業の効果を検証する指標

○現状値・・・年度当初における評価指標の数値

○目標値・・・年度内の事業展開により目指すべき評価指標の数値

○実績値・・・年度末における評価指標の実績数値

○事業効果・・・目標値と実績値を比較し、判定基準により事業の効果を5段階で検証します。

A 地方創生に非常に効果的であった。（実績値が目標値に近い場合や上回った場合など）

B 地方創生に相当程度効果があった。（実績値が目標値の7割～8割程度の場合など）

C 地方創生に効果があった。（実績値が目標値を7割程度より下回っても、事業開始前よりも状況が改善した場合など）

D 地方創生にあまり効果がなかった。（実績値が目標値を7割程度より下回り、事業開始前と状況が同じ場合など）

E 地方創生に効果がなかった。（実績値が目標値を大きく下回り、事業開始前よりも状況が悪化した場合など）

○今後の方針・・・事業効果を検証し、次年度以降の事業取組みの方針を決定します。また、その理由について詳細を記載します。

1. 事業をさらに発展させる。

2. 事業を継続する。

3. 事業内容を見直す。

4. 予定通り事業終了。

5. 事業を中止する。

(2) 藤崎町総合戦略会議による検証および評価

○事業評価・・・事業効果及び今後の方針を検証し、地方創生の推進に有効であるかを3段階で評価します。

- A 総合戦略の推進に有効である。
- B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効であると言える。
- C 総合戦略の推進に有効とは言えない。

<基本目標①> 地域産業に魅力ある“しごと”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）						
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
地域資源を活かしながら、地域農業6次産業化、観光コンテンツ創出、産業強化、戦略的雇用支援等を推進し、地域に魅力あるしごとを創る。それにより、皆が地域に定着し、輝いて活躍できる基盤づくりを進める。	■経営体あたり農業算出額	489万円 (H22)	現状より増加 (H32)	590万円 (RESAS)	—	—	—	—	—	※5年毎公表
	■観光入込客数	247,329人 (H26)	310,000人 (H32) ※5年で25%増加	265,670人 (観光入込客数調べ)	244,900人 (観光入込客数調べ)	未公表				
	■食彩ときわ館利用者数	150,793人 (H26)	181,000人 (H32) ※5年で20%増加	152,767人	147,498人	109,521人				

(1) まちの未来を耕す農業の振興

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
藤崎ブランド農産物 みんなで発信！みんなで応援！	■新規就農者数	18人 (H26)	48人 (H32) ※5年で30人増加	24人 (新規就農者支援制度利用者数累計)	28人 (新規就農者支援制度利用者数累計)	34人 (新規就農者支援制度利用者数累計)			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	藤崎町地域産業振興拠点整備事業		食彩ときわ館売上金額 食彩ときわ館利用者数	177,000千円 (159,958千円) 159,500人 (147,498人) ※目標値＝地域再生計画より	116,000千円 109,521人	C 地方創生に効果があった	1 事業をさらに発展させる 【方針の詳細】 仮店舗営業の影響で実績が前年割れた。リニューアル開業後は数値の伸びが期待される。拠点整備事業完了後は、指定管理事業の運営支援に注力する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】 平成30年度リニューアル開業後の活況に期待する。	ふじさき食彩テラス売上金額 ふじさき食彩テラス利用者数	229,100千円 (116,000千円) 175,000人 (109,521人) ※目標値＝地域再生計画より	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容									
2	ふじさき産品開発育成支援事業		ふじさき産品開発数	5品 (5品) ※目標値＝地域再生計画より	8品	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる 【方針の詳細】 H30年度からはふじさき食産業創造拠点施設への指定管理事業として実施していく。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】 目標を上回る成果を出しており、交付金等の財源を有効に活用しているといえる。	ふじさき産品開発数	5品 (8品) ※目標値＝地域再生計画より	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度					平成30年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
3	藤崎町認定農業者事業		認定農業者数	253人 (235人)	231人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	認定農業者数	253人 (231人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 認定期間満了者に対し認定継続を推進する。 認定新規就農者からの切り替えを推進する。	【特記事項】			
4	県りんご産業基幹青年養成事業		りんご産業基幹青年養成者数	3人 (5人)	5人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	りんご産業基幹青年養成者数	4人 (5人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 後継者不足に対応するため、若手生産者の育成を図る。	【特記事項】			
5	りんご病害虫マスター養成事業		りんご病害虫マスター養成者数	2人 (2人)	2人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	りんご病害虫マスター養成者数	2人 (2人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 病害虫に関する専門的知識を有する生産者の育成を図る。	【特記事項】			
6	りんご剪定士養成事業		りんご剪定士養成者数	2人 (2人)	2人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	りんご剪定士養成者数	3人 (2人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 剪定に係る専門的知識を有する生産者の育成を図る。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
7	りんご減農薬栽培推進事業		りんご減農薬栽培面積数	5,207a (4,085a)	2,244 a	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	りんご減農薬栽培面積数	5,207a (2,244a)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 減農薬栽培のPR活動を積極的に行う。	【特記事項】 効果を上げるには農家個々で取り組むのではなく、協力的体制を構築する必要がある。また、生産物を優位に販売できる販売先も設定されなければならない。			
8	にんにく優良品種導入事業		にんにく種子育成ほ場面積	135a (140a)	140 a	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	にんにく種子育成ほ場面積	170a (140a)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 高収益作物であるにんにくの作付面積拡大を図る。	【特記事項】 ウィルスフリー種子は少ないので、今後も種子確保の事業は必要である。			
9	食料と農業に関する基本協定代表者会議事業		首都圏消費者農業体験交流人口	60人 (32人)	51人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	首都圏消費者農業体験交流人口	60人 (51人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 ・都市圏での交流事業に地元生産者を参加させる。 ・ふじさき食彩テラスの機能を活用した商品開発を検討する。	【特記事項】			
10	若手農家等育成販路開拓事業		首都圏での直売会参加者数	21人 (17人)	22人	A 地方創生に非常に効果的であった	5 事業を中止する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効			農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 若手農業者の会「ワゲモンド」支援事業に統合し、事業継続する。	【特記事項】 若手農家には販売ルート構築・拡大は大事。生産～販売の流れを意識した取組に期待。一方でワゲモンドの会に限定した支援で良いかという疑問もある。			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度					平成30年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
11	りんご「ふじ」発祥の地ブランド化推進事業		会議参加のりんご生産者数	5人 (3人)	3人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	会議参加のりんご生産者数	5人 (3人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 協議会においてりんご「ふじ」発祥の地として農産物のブランド化をどのように推進していくかを再度検討し、PR活動等の強化につなげる。	【特記事項】			
12	特色のある地域間連携産品づくり事業		オリジナル連携産品数	1品 (2品)	7品	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	オリジナル連携産品数	2品 (7品)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 H29 連携事業の具体的な方針・内容を決定して実施 H30 新規商品開発とあわせて道の駅や直売所での活用・販売等も検討	【特記事項】 目標を上回る成果となっており、国の交付金等財源を非常に有効活用できている。			
13	地域6次産業化推進事業		農産物加工販売実践セミナー参加者数	30人 (69人)	45人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	農産物加工販売実践セミナー参加者数	35人 (45人)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 ふじさき産業創業拠点施設での指定管理事業として実施する。農産物加工品づくり実践セミナー等による6次産業化の推進を図る。	【特記事項】 実績を見れば前年度より減っているものの、目標の1.5倍の成果を上げている。継続して効果が得られるように期待する。			

(2) 魅力あふれる観光の創出

オールふじさき！みんなでアクション！		計画期間の数値目標			達成状況（実績値）				
指標		当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
まちを歩き まちを知る 好奇心でまち再発見！		■観光ウェブサイト利用者数	サイト開設 (H27)	500人 (H32) ※5年で500人増加	0人 (年度未開設)	14,574人	29,822人		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	観光情報サイト「ふじさんぼ」活用事業		フェイスブック「ふじさんぼ」の「いいね！」数	215人 前年比10%増 (196人)	304人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる 【方針の詳細】 観光情報の発信を強化し、誘客につなげる取組に結びつける。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	フェイスブック「ふじさんぼ」の「いいね！」数	334人 前年比10%増 (304人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
藤崎町観光情報サイト「ふじさんぼ」を活用し、フェイスブックによるタイムリーな観光情報を発信することにより、町の魅力発信の強化や交流人口の拡大を図る。		「ふじさんぼ」のタイムリーな更新により町の魅力発信を強化する。									
2	ふじさき秋まつり事業		町民力結集の新たな取組件数	1件 (1件)	5件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 新しい取組を増やしつつ、内容の発展等も考慮する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	町民力結集の新たな取組件数	1件 (5件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
町の産業振興・芸術文化の向上・健康増進を目的に、ジャンボおにぎりづくりをメインイベントとしたふじさき秋まつりを開催し、町民力の結集・交流・町のPRを図る。		ジャンボおにぎり等の集客力のあるイベントや町民力を結集したおもてなしにより、イベント来場者を増加させて、町のPRを強化する。									
3	ご当地キャラ活用によるPR活動実施事業		ご当地キャラ活動件数	30件 (39件)	34件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 件数のこれ以上の増は難しいため、現在の参加活動の内容を高める方向を検討する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	ご当地キャラ活動件数	30件 (34件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
誘客効果を向上させるツールとして、ご当地キャラ（ふじ丸くん、ジャン坊くん）がイベント等PR活動に参加することにより誘客宣伝・情報発信効果を高める。		ご当地キャライベントや町内のイベント等に出演し、キャラクターグッズ等を配布することで、町の魅力アップにつなげる。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	観光人材育成プロモーション事業		観光ボランティア アガイド数	1人 (0人)	3人	A 地方創生に 非常に効果的であ った	2 事業を継続 する	A 総合戦略の 推進に有効	観光ボランティ アガイド数	4人 (3人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 ガイド数は達成で きたが、活動が限 定的である。更な る人材の育成に取 り組む。	【特記事項】 国交付金等の財源 を活用して着実に 人材の養成が出来 ている。引き続き 有効な取組をして もらいたい。			
5	ふじさき産品PRプロモーション事業		「ふじさき品 質」ウェブサイ トアクセス数	2,000件 (258件)	6,573件	A 地方創生に 非常に効果的であ った	1 事業をさら に発展させる	A 総合戦略の 推進に有効	「ふじさき品 質」ウェブサイ トアクセス数	2,500件 (6,573件)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 ふじさき産業創業 拠点施設での指定 管理事業として実 施する。 ウェブサイトでの より効果的なPR方 法を検討してい く。	【特記事項】 ウェブサイトへの アクセス・閲覧の 目標指標が大きく 達成されている。 引き続き国財源等 の有効活用を図っ て欲しい。			
	事業概要・目的	取組内容									

(3) 活力ある地域産業の強化

オールふじさき！みんなでアクション！		計画期間の数値目標			達成状況（実績値）				
指標		当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
町内の買い物で みんなが緑（円）でつながります！ ■誘致企業数		12社 (H26)	15社 (H32) ※5年で3社増加	12社	12社	12社			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	プレミアム付商品券事業		地元事業所での利用率	50% (34.8%)	37.40%	B 地方創生に相当程度効果があった	3 事業内容を見直す 【方針の詳細】事業効果を精査し、事業継続の可否も含め、商工会と検討する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】指標の意味が「地元資本の事業所での利用率」という意味合いとすれば、今後の見直し施策で得られる効果（率の向上）に期待する。	地元事業所での利用率	50% (37.4%)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
プレミアム付商品券の発行を通じて地元商工業者の利用・販売促進、活性化を促す。		1万円で1万1千円分の商品券が購入できるプレミアム付商品券を3,000セット販売する。									
2	商店街等活性化イベント事業		商店街等活性化イベント数	3イベント (2イベント)	1イベント	E 地方創生に効果がなかった	3 事業内容を見直す 【方針の詳細】商工会と調整の上、事業実施の取組増を検討する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】施策の見直しによって、地域産業の活性に効果のある事業が展開されるよう期待する。	商店街等活性化イベント数	2イベント (1イベント)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
町内商店街が実施する活性化イベント事業に対して、補助金を交付して支援を実施する。		町商工会を經由し、なべワングランプリ、梅田町商店街まつりのイベント補助を実施する。									
3	「ふじワングランプリ」事業		エントリーメニュー400食完売店舗の割合	100% (90.9%)	100%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】現行の内容を精査し、継続の在り方を検討する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	エントリーメニュー400食完売店舗の割合	100% (100%)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
町のオリジナルメニュー開発を通じ地域資源や観光資源の魅力を向上させる。開発メニューを集めた食のイベントを開催し、誘客宣伝・情報発信を行う。メニューの継続販売・地域への普及を図り、地域経済の活性化を促す。		町内の店舗が町の特産品を活用したオリジナルメニューを提供し、来場者の投票によりグランプリを決定する。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成29年度					平成30年度		担当		
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)			
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)	
4	ぐるめぐりスタンプラリー事業	まち歩きスタンプラリー参加店舗を対象としたセミナーを開催し、ホスピタリティを向上し、スタンプラリーを実施する。	スタンプラリー参加者数	95人 前年比20%増 (79人)	109人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	スタンプラリー参加者数	131人 前年比20%増 (109人)	企画財政課
	事業概要・目的						取組内容	【方針の詳細】 取組効果が顕著なため、更なる取組による事業の発展を検討する。			
5	企業誘致支援事業	企業誘致推進協議会研修会の参加や誘致企業への訪問を実施し、企業誘致による雇用の確保及び地域経済の活性化を推進する。	新規立地企業数	1社 (1社)	0社	E 地方創生に効果がなかった	3 事業内容を見直す	C 総合戦略の推進に有効とは言えない	新規立地企業数	1社 (0社)	企画財政課
	事業概要・目的						取組内容	【方針の詳細】 相談企業に対し、情報のフンストップ化など対応強化を検討する。			
6	特別保証制度保証料補助事業	中小企業の運転資金貸付に関する小口資金及び設備投資貸付に関する活性化資金に係る保証料を補てんする。	小口資金保証料補てん制度利用率	90% (99.9%)	99.9%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	小口資金保証料補てん制度利用率	90% (99.9%)	企画財政課
	事業概要・目的						取組内容	【方針の詳細】 事業認知はされているため、現状を維持する。			

(4) 戦略的な雇用支援の推進

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域のしごとの魅力を みんなで子どもたちに伝えよう！	■起業・創業制度資金の活用件数	0件 (H26)	目標 5件 (H32) ※5年で5件増加	0件	0件	1件			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	雇用拡大セミナー事業（実践型地域雇用創造事業）		セミナー参加事業所数	28事業所 (62事業所)	90事業所	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	セミナー参加事業所数	28事業所 (90事業所)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 厚労省よりH30年度まで3ヶ年事業で受託している。最終年度の目標達成を目指して継続する。	【特記事項】			
2	雇用創出実践メニュー事業（実践型地域雇用創造事業）		ふじさき産品開発数	5品 (4品)	6品	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	ふじさき産品開発数	5品 (6品)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 厚労省よりH30年度まで3ヶ年事業で受託している。最終年度の目標達成を目指して継続する。	【特記事項】			
3	中学校職場体験事業		職場体験実施校数	2校 (2校)	2校	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	職場体験実施校数	2校 (2校)	学務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 今後も地元への就職へつながる取組として継続支援する。	【特記事項】			
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
4	青森県未来を変える挑戦資金事業		制度利用件数	1件 (0件)	1件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 目標は達成したが、継続的な取組ができるよう検討する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	制度利用件数	1件 (1件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
	新たに事業を開始しようとする者、または事業を開始して1年に満たない中小企業者の必要な資金（運転資金、設備資金）の調達について、青森県未来を変える挑戦資金の融資を受けた場合に、信用保証料を補てんする。	県の信用保証料30%補てん後の信用保証料を町が全額補助する。									

<基本目標②> まちの未来を築く“ひと”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
豊かな自然や歴史文化、交通利便性の高さなど、町の強みを最大限に活かしながら、町の未来を築く“ひと”を創生することで、誰もが活躍できるまちづくりを推進する。	■定住意識について「転出は考えていない」「将来的に町に戻りたい」と考える人の割合	78.1% (H27)	現状より増加 (H32)	未計測	未計測	未計測			
	■町に愛着を感じている人の割合	73.5% (H24)	現状より増加 (H32)	未計測	未計測	未計測			

(1) 新しい人の流れをつくる定住促進支援

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子どもたちが安心して遊べる 地域のみんなが見守り隊！	■移住相談件数	0件 (H26)	10件 (H32) ※5年で10件増加	1件 (累計)	1件 (累計)	1件 (累計)			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	移住・交流促進事業		移住相談件数	3件 (0件)	0件	E 地方創生に効果がなかった	3 事業内容を見直す 【方針の詳細】 移住交流の取組方策の改善を検討する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】 周知の絞り込みが必要か。人口減少対策としてUターン希望者等を確保するのは非常に重要。いろいろと試行錯誤をしてもらいたい。	移住相談件数	3件 (0件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
2	ふるさと納税事業		ふるさと納税者件数	888件 (807件)	3,970件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 ポータルサイトへの登録により広く周知されたことから、今後もお礼品提供業者を増やすなど工夫を凝らし藤崎町の魅力を発信していく。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	ふるさと納税者件数	4,764件 (3,970件)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成29年度					平成30年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
3	弘前圏域空き家バンク事業	弘前市が実施している民間の不動産業者等と連携した空き家バンク事業を、弘前定住自立圏市町村で実施できるかを検討する。	空き家バンクの利用方法や各市町村の役割等について検討を行い、将来的な移住施策につなげる。	空き家バンク事業実施市町村数 8市町村 (1市)	8市町村	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	空き家バンク事業登録者数 10人 (0人)	企画財政課
	事業概要・目的						取組内容	【方針の詳細】		
4	若者移住すまいづくり補助事業	町内に自らが移住する目的で住宅を建築し、又は新築住宅を購入する若者夫婦に対し、必要な費用の一部を補助することにより、人口の維持と地域の活性化を図る。	土地と住宅を取得=80万円 住宅のみを取得 =50万円	新築移住世帯数 10世帯 (0世帯)	23世帯	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	新築移住世帯数 14世帯 (23世帯)	建設課
	事業概要・目的						取組内容	【方針の詳細】		
5	子育て世帯定住促進事業	町に転入し、民間賃貸住宅に入居する子育て世帯に対し、定住促進と子育て支援の充実を図るため、補助金を交付する。	当町に5年以上住むことを前提に転入した子育て世帯に対し、最大2年間、民間賃貸住宅の家賃を助成し、同居する小・中学生に米を支給する。	補助金等交付決定件数 10件 (0件)	4件	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	補助金等交付決定件数 10件 (4件)	住民課
	事業概要・目的						取組内容	【方針の詳細】		

(2) 未来を創造する人材の育成

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
地域の愛着やふるさとの誇り 学びながらみんなで学ぼう！	■ジュニアリーダー数	10人 (H26)	15人 (H32) ※5年で5人増加	13人	13人	13人			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	子どもまち歩き事業		子どもまち歩きの実施回数	1回 (一回)	1回	A 地方創生に非常に効果的であった	5 事業を中止する 【方針の詳細】 参加者4人。夏休み中で祭、総合学習塾などのある中での実施。子どもたちの地域への愛着は「まつりボランティア」で醸成を図る。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】 子どもの地域への愛着を育てる大切な事業項目。今後も「まつりボランティア事業」として方針修正して検証を継続していただきたい。	/	/	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容									
子どもたちに町への愛着を更に深めてもらうため、これまで夏休み期間中に実施した子ども議会に代わり、平成29年度より子どもまち歩きを実施する。		別事業で構築してきたまち歩きコンテンツをベースにして、子どもたちを対象に実施することで、参加者の地域愛の醸成を図るもの。									
2	食の体験学習事業		食の体験学習実施学校数	3校 (3校)	3校	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 今後も食育を推進するため、継続支援する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	食の体験学習実施学校数	3校 (3校)	学務課
	事業概要・目的	取組内容									
食育を推進するために、小学校で米、りんごや野菜づくりを体験する「食育ファーム」を実施する。		米、りんご、野菜づくりを体験することで、食の大切さと感謝の気持ちを持った元気で健やかな子どもたちを育てる。									
3	子ども総合学習塾事業		子ども総合学習塾参加者延べ人数	180人 (180人)	182人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる 【方針の詳細】 事業の中で英語学習の機会を増やし、将来に活用できるように支援する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	子ども総合学習塾参加者延べ人数	200人 (182人)	学務課
	事業概要・目的	取組内容									
主に小学生を対象として土曜日、長期休暇を利用し、次世代を担う子どもたちの知・徳・体の充実及びグローバルな人材育成のため、弘前大学と連携しながら、学生及び地域住民の協力を得た総合的な学習の場を提供する。		児童が宿題やドリル等を持ち込み、弘前大学の学生と一緒にわからないことや知りたいこと等、学習をする。また、ALTによる英語学習も取り入れて行う。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	児童交流事業実行委員会事業		交流事業参加児童数	30人 (25人)	30人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	交流事業参加児童数	30人 (30人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 児童の交流支援を行い、地域理解と互いに支え合う人材の育成を図る。	【特記事項】			
5	子ども読書週間推進事業		利用者数 (お話し会参加者数)	1,100人 (1,103人)	944人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	利用者数 (お話し会参加者数)	1,100人 (944人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 本の読み聞かせ活動・図書資料の紹介等を通して乳幼児・児童・生徒への読書習慣づくりに努める。	【特記事項】			
6	特別支援教育支援員事業		特別支援教育支援員数	11人 (11人)	11人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	特別支援教育支援員数	11人 (11人)	学務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 今後も児童生徒の学校生活を充実させるため、継続支援する。	【特記事項】			
7	家庭教育支援事業		家庭教育支援事業参加者数	420人 (417人)	259人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	家庭教育支援事業参加者数	※150人 (259人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 幼児及び児童生徒の健全育成を図るため、保護者等に家庭教育講座及び相談体制の充実を図る。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
8	藤崎町文化センター自主事業		自主事業参加者数	1,100人 (1,850人)	1,121人 ※文化センター整備工事のため、小学校鑑賞事業の実施なし	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	自主事業参加者数	1,800人 (1,121人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 小学校鑑賞事業1回、中学校鑑賞事業1回、一般鑑賞事業2回を実施する	【特記事項】			
9	国際交流事業		凧フェスタ参加者数	1,000人 (0人)	700人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	凧フェスタ参加者数	1,000人 (700人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 「凧フェスタ」を継続開催し、国際交流の理解を深める機会とする。	【特記事項】			
10	郷土クラブ事業		郷土クラブ事業参加児童数	23人 (23人)	20人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	郷土クラブ事業参加児童数	22人 (20人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 藤崎小・藤崎中央小のクラブ活動の時間に、「菊様の舞」「松助踊り」の指導者を派遣する	【特記事項】			
11	NPO法人文化協会活動事業		文化協会所属団体数	団体 46 個人 5 賛助会員 1 (団体 46) (個人 5) (賛助会員 1)	団体 45 個人 4 賛助会員 1	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	文化協会所属団体数	団体 46 個人 5 賛助会員 1 (団体 45) (個人 4) (賛助会員 1)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 文化協会による、芸術・文化の交流活動と、芸術・文化の発信拠点となる活動を支援する	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
12	中学生海外派遣事業		中学生海外派遣 参加生徒数	12人 (0人)	16人	A 地方創生に 非常に効果的であ った	1 事業をさら に発展させる	A 総合戦略の 推進に有効	中学生海外派遣 参加生徒数	16人 (16人)	学務課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 英語力を養うた め、取組内容の見 直しや対象者の範 囲を広げる等、国 際社会で活用でき るよう支援する。	【特記事項】			
	次代を担う中学生が外国での生活を通して異なる文化や伝統を見聞して理解を深め、国際感覚を養うことにより、国際社会に貢献できる人材の育成と中学校の国際理解教育の推進に資するため実施する。	町内に住所を有する中学2年生を対象に海外でのホームステイ・学校体験を実施する。									

(3) みんながチャレンジできる環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
誰かの小さなチャレンジを みんなで全力応援！	■いきいき生活大学受講者数	189人 (H26)	225人 (H32) ※5年で20%増加	257人	343人	352人			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	いきいき生活大学事業		いきいき生活大学受講者数	377人 (343人)	352人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 町内外から講師を招き、町民の生きがいや潤いのある生活の手助けとなるような講座を開催する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	いきいき生活大学受講者数	400人 (352人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容									
町内外から講師を招き、町民の生きがいや潤いのある生活の手助けとなるような講座を開催。地域課題・歴史文化・健康・趣味の4領域においていきいき生活大学を通して、町民が生きがいにつながるような学習の場の提供を図る。		地域の課題や町民のニーズに合った講座の開催に努める。									
2	人材育成セミナー事業（実践型地域雇用創造事業）		セミナー参加者数	45人 (43人)	83人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 厚労省よりH30年度まで3ヶ年事業で受託している。最終年度の目標達成を目指して継続する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	セミナー参加者数	45人 (83人)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容									
地域求職者向けの商品企画・開発スキルを習得するセミナーや6次産業化に向けた、食品製造・食品加工技術を習得するセミナーを開催し、地域求職者のチャレンジを支援する。		藤崎町産業創造協議会の事業推進員が各種セミナーを企画運営し、ホームページ等で情報提供する。									
3	若手農業者の会「ワゲモンド」支援事業		若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人 (23人)	23人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 新規就農希望者に対する誘導、組織活動に対する支援を継続する。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	若手農業者の会「ワゲモンド」会員数	27人 (23人)	農政課
	事業概要・目的	取組内容									
若手農業者で組織する会「ワゲモンド」のチャレンジを支援することで、地元農産物のPRや栽培技術向上に取り組むとともに、将来的な新規就農者の増加につなげる。		若手農業者の新たな販路開拓や独自商品づくり等を支援するため、首都圏での直売会や地域PRグッズの制作等を実施する。									

<基本目標③> 結婚・子育ての希望をかなえる“みらい”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）						
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
地域全体で男女の出会いを応援し、出会いの場づくりなどの支援を行うことで、晩婚化や未婚化を解消する。妊婦や子育て家庭をサポートする環境づくりや子育てサービスの推進など、若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる“みらい”を創る。これにより合計特殊出生率上昇と人口自然減抑制を図り、将来の町の人口構造安定化につなげる。	■合計特殊出生率	1.28 (H20～24)	現状より増加 (H32)	未公表 (H25～29)						※5年毎公表
	■結婚の支障理由に「異性と出会う機会がない」「収入が少なく将来の生活が不安」を挙げる人の割合	53.8% (H27)	現状より減少 (H32)	未計測	未計測	未計測				
	■希望の子ども数を持っていない理由に「子育てや教育にお金がかかる」を挙げる人の割合	65.9% (H27)	現状より減少 (H32)	未計測	未計測	未計測				

(1) 出会いから始まる婚活の支援

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
出会いから始まる恋物語 地域みんなのサポートで！	■（仮称）ふじさき出会い応援団の構成団体数	（仮称）ふじさき出会い応援団の組織化	10団体 (H32) ※5年で10団体増加	未組織化	未組織化	未組織化			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成29年度				平成30年度		担当			
		重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）		
		評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）	
1	ふじさき出会い応援事業	地域全体で男女の出会いを応援し、晩婚化や未婚化の傾向を解消するために、町の地域資源を活用した参加型の婚活イベントを開催する。	婚活イベント参加率（婚活イベントの定員に対する参加者数の割合）	95.0% (90.9%)	92.50%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】引き続き婚活イベント参加率を上げることで、更に男女の出会いを応援することとする。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】イベントへの注目度が低いように感じられる。カップル成立・成婚のプレゼント等を設定してPR促進しても良いのではないかな。	婚活イベント参加率（婚活イベントの定員に対する参加者数の割合）	95.0% (92.5%)	住民課
	事業概要・目的										
2	出愛サポートセンター事業	弘前市が先行実施した男女の出会い（お見合い）を支援する出愛サポートセンター事業について、弘前圏域市町村の住民が利用できるように事業を拡充して実施する。	出愛サポートセンターの登録者数	10人 (4人)	17人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する 【方針の詳細】引き続き出愛サポートセンター事業を活用して、広域での男女の出会いを支援することとする。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	出愛サポートセンターに登録し、お見合いをした人数	17人 (17人)	住民課
	事業概要・目的										

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成29年度					平成30年度		担当		
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)			
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)	
3	あおもり出会いサポートセンター事業		あおもり出会いサポートセンターSNS (Facebook) フォロワー数	200人 (-)	177人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】引き続き当町で実施する婚活イベント（出会い応援イベント）の情報を提供し、男女の出会いを支援することとする。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	あおもり出会いサポートセンターSNS (Facebook) フォロワー数	200人 (177人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容									
	少子化の要因の一つである未婚化・非婚化の流れを変えるために、結婚を望む方への機会づくりやウェブサイトによる情報提供等を実施する。	サポートセンターに町で実施する婚活イベント情報等を提供し、広く参加希望者への周知を図る。									

(2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！		計画期間の数値目標			達成状況（実績値）				
指標		当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
子どもたちに笑顔であいさつ！みんなで見守る地域の子育て		■（仮称）ふじさき子育て応援団の構成団体数	（仮称）ふじさき子育て応援団の組織化 ※5年で30団体増加	30団体（H32）	5団体	6団体	6団体		

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度					平成30年度		担当	
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標（KPI）		
			評価指標	目標値（現状値）	実績値				評価指標		目標値（現状値）
1	放課後学童保育体制充実事業		学童保育登録児童数	233人 (233人)	243人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	学童保育登録児童数	300人 (243人)	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度から、小学校6年生までの児童を対象として事業を実施する。	【特記事項】			
2	一時預かり・延長保育事業		一時預かり保育実施保育所（園）数 延長保育（促進）実施保育所（園）数	7か所 (7か所) 7か所 (7か所)	一時預かり7か所 延長保育7か所	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	一時預かり保育実施保育所（園）数 延長保育（促進）実施保育所（園）数	6か所 (7か所) 6か所 (7か所)	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 平成30年3月末日をもって福島保育園が閉園したことから、目標値をそれぞれ1減した上で、事業を継続する。	【特記事項】			
3	病児保育事業		病児保育実施保育所（園）数	2か所 (1か所)	1か所	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	病児保育実施保育所（園）数	2か所 (1か所)	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 次年度からときわこども園にて病児保育事業が実施できるように支援する。	【特記事項】			
	事業概要・目的	取組内容									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	乳幼児及び子どもの医療費助成事業		助成件数	26,000件 (26,225件)	27,709件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	助成件数	27,000件 (27,709件)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き医療費助成を行い、子育て世帯を支援することとする。	【特記事項】			
5	出産祝金事業		支給者数	18人 (15人)	19人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	支給者数	19人 (19人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き第3子以上への祝金を支給し、子育て世帯を支援することとする。	【特記事項】			
6	子育てサポート事業		子育て応援団の構成団体数	10団体 (6団体)	6団体	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	子育て応援団の構成団体数	10団体 (6団体)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き事業所・団体等に声掛けをし、登録団体を増やすための取組を実施することとする。	【特記事項】			
7	すこやか健診(相談)事業		すこやか健診受診率(乳児健診)	95.0% (91.6%)	93.30%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	すこやか健診受診率(乳児健診)	95.0% (93.3%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】健診受診者に対し、乳児期からの規則的な生活習慣の基礎づくりができるよう対象者にあわせた支援を実施していく。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
8	放課後子ども教室推進事業		わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	1,200人 (1,000人)	922人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	わんぱく教室・子どもふれあい教室参加児童数	1,100人 (922人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 わんぱく広場や子どもふれあい教室を開催し、学習・体験交流の機会を定期的に提供する。	【特記事項】			
9	地域子育て支援拠点事業		子育て支援拠点の延べ利用者数	1,000人 (-)	1,149人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	子育て支援拠点の延べ利用者数	900人 (1,149人)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 ときわこども園認可にもなっても事業実施できなかったため、藤崎保育所の1ヶ所を中心に地域全体で子育てを支援することとする。	【特記事項】			
10	ひとり親家庭等医療費助成事業		助成件数	5,200件 (5,299件)	4,937件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	助成件数	4,900件 (4,937件)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 引き続きひとり親家庭への医療費助成を行い、子育て世帯を支援することとする。	【特記事項】			
11	子育て支援WEBサイト制作事業		子育てウェブサイトアクセス数	1,200件 (607件)	3,325件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	子育てウェブサイトアクセス数	3,600件 (3,325件)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 引き続きWEBサイトを充実させて、アクセス数を増やす取組を実施することとする。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
12	特定不妊治療費助成事業		特定不妊治療助成件数	12件 (12件)	5件	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	特定不妊治療助成件数	12件 (5件)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 本事業の活用により、妊娠・出産につながった事例もあるため、広報等での周知を継続し、事業活用の促進を図る。	【特記事項】			
13	ブックスタート事業		利用者数 (親子組数)	90組 (87組)	98組	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	利用者数 (親子組数)	100組 (98組)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 乳児健診時に絵本を無償で送る活動を通して、赤ちゃんと心ふれ合うひとときを持つ大切さをPRする活動を支援する。	【特記事項】			
14	予防接種事業		予防接種率 (おたふく風邪)	80% (66.2%)	71.20%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	予防接種率 (おたふく風邪)	80% (71.2%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 定期予防接種と同様に、対象者に対して事業の周知を図り、接種を勧奨する。	【特記事項】			

※ 基本目標③ (2) 安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり 全体についての委員コメント

【特記事項】
 利用者は幅広い事業を期待していると思われる。個別の事業効果に左右されずに多様なニーズを吸い上げて事業実施していただきたい。
 例) 子育て期間中の仕事探しについて企業側とのマッチング支援 / 子育て世代住民の「自分の時間のつくり方」や「心のケア」施策 等

<基本目標④> いきいきと活力ある“まち”を創生する

概要	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
若者のまちづくりへの参画促進によるコミュニティ活性化、町民の主体的健康づくりと食生活改善、安心して快適に暮らせるまちづくりなど、地域資源や人材を活かした施策連携により、いきいきと活力あるまちを創生し、みんなが心豊かに共生できるまちづくりを推進する。	■町平均寿命 男性は全国との格差縮小 女性は現状維持	男性77.5歳 女性86.4歳 (H22町)	男性79.6歳 女性86.4歳 (H22全国)	男性78.5歳 女性85.4歳 (市町村別生命表)	—	—	—	—	
	■公共施設巡回バス利用者	24,901人 (H24)	26,800人 (H32) ※5年で7%増加	23,029人	24,179人	23,549人			

※5年毎公表

(1) みんなのまちづくり活動の支援

オールふじさき！みんなでアクション！	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
	指標	当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
まちづくりの第一歩 ボランティアにみんなで参加！	■ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	7団体 (H26)	12団体 (H32) ※5年で5団体増加	9団体	9団体	11団体			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度					平成30年度		担当	
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標（KPI）		
			評価指標	目標値（現状値）	実績値				評価指標		目標値（現状値）
1	コミュニティ助成事業		一般コミュニティ助成事業申請団体数	6団体 (6団体)	6団体	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	一般コミュニティ助成事業申請団体数	6団体 (6団体)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 助成事業としては継続も、申請団体数は増加につながるよう、周知を強化する。	【特記事項】			
2	ふじさき地域活性化助成金事業		ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	10団体 (9団体)	11団体	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	ふじさき地域活性化助成事業活用団体数	12団体 (11団体)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 助成事業としては継続も、申請団体数は増加につながるよう、周知を強化する。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
3	まちづくり団体交流事業		まちづくり団体交流会参加人数	60人 (58人)	54人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	まちづくり団体交流会参加人数	60人 (54人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 事業趣旨は変わらないので、周知を強化し、参加者の増加を図る。	【特記事項】			
4	まちづくり座談会事業		まちづくり座談会実施回数	1回 (2回)	1回	A 地方創生に非常に効果的であった	3 事業内容を見直す	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	まちづくり座談会実施回数	1回 (1回)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 多様な意見を徹するため、事業内容を見直し、実施に向けた準備をする。	【特記事項】 開催回数のみではなく参加者数を目標とすべき。			
5	各種審議会委員公募事業		各種審議会等の公募委員数	2人 (1人)	0人	D 地方創生にあまり効果がなかった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	各種審議会等の公募委員数	2人 (0人)	企画財政課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 多様な意見を徹するため、事業を継続する。周知の強化を図る。	【特記事項】 公募手法に工夫が必要。			
6	ボランティア連絡協議会事業		ボランティア登録者数	3,613人 (3,613人)	3,586人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	ボランティア登録者数	3,600人 (3,586人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 継続してボランティア団体との連携・維持に努める。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度					平成30年度		担当	
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
7	老人クラブ事業		老人クラブ会員数	1,540人 (1,521人)	1,496人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	老人クラブ会員数	1,510人 (1,496人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 高齢者の生きがい作り、孤立・孤独感の解消、地域福祉への取組に参加し、高齢者が元気な社会にする。	【特記事項】			
8	介護予防事業		介護教室参加者数	200人 (183人)	224人	A 地方創生に非常に効果的であった	1 事業をさらに発展させる	A 総合戦略の推進に有効	介護教室参加者数	250人 (224人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 健康づくりを通じて、地域の居場所や社会参加の機会づくり、環境整備等、人と人との繋がりを拡大し、できる限り介護を要しない高齢期生活を目指す。	【特記事項】			

(2) いきいき健康づくりの推進

オールふじさき！みんなでアクション！	指標	計画期間の数値目標		達成状況（実績値）					
		当初	目標	H27	H28	H29	H30	H31	H32
毎日がチャレンジデー！みんなで1日15分の運動！	■スポーツプラザ藤崎利用者数	66,421人 (H26)	70,000人 (H32) ※5年で5%増加	44,271人	72,203人	54,943人			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	各種健診事業		特定健診受診率	60% (47.0%)	51.0%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	特定健診受診率	60% (51.0%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 特定健診受診率の目標60%達成に向けて、受診勧奨を実施する。	【特記事項】			
2	健康相談及び健康教育事業		健康講座開催数	9回 (9回)	11回	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	健康講座開催数	9回 (11回)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 ポピュレーションアプローチとして健康講座を実施し、町の健康課題にあわせたテーマで生活習慣病予防の健康教育を実施する。	【特記事項】			
3	健康推進員会事業		健康推進員会会員数	126人 (126人)	133人	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	健康推進員会会員数	130人 (133人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 現任の健康推進員と退任後の会員が、会の活動に賛同し、自主的に活動を実施することで地域ぐるみの健康づくり体制整備・地域のリーダー育成を目指す。	【特記事項】			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	食生活改善推進員会事業		食生活改善推進員数	40人 (38人)	38人	B 地方創生に相当程度効果があった	1 事業をさらに発展させる	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	食生活改善推進員数	40人 (38人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 地域の健康づくりのリーダーでもあるが、会員の高齢化が課題。若い世代の会員の育成を図りながら、事業を推進していく。	【特記事項】			
5	藤崎町チャレンジデー事業		チャレンジデー参加率	55% (50.7%)	60.6%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	チャレンジデー参加率	70% (60.6%)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 町民の健康づくりと体力づくりとともに、地域間連携を深める。	【特記事項】			
6	NPO法人藤崎町体育協会事業		いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人 (5,297人)	5,216人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	いきいきスポーツクラブ参加者数	5,400人 (5,216人)	生涯学習課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 体育・スポーツを振興し、町民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図る。	【特記事項】			
7	がん検診事業		胃がん検診受診率 (40歳以上)	50% (38%)	32.3%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	胃がん検診受診率 (40歳以上)	50% (32.3%)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】 国の目標値である50%を目標にがん検診受診率の向上を目指すとともに、検診の精度管理の推進を図り、がんの早期発見・早期治療につなげる。	【特記事項】			

(3) 安心して暮らせる生活環境づくり

オールふじさき！みんなでアクション！	指標	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
		当初	目標		H27	H28	H29	H30	H31	H32
避難所までのルートや避難方法 地域みんなで確認！	■自主防災組織数	1団体 (H26)	5団体 (H32) ※5年で4組織増加		2団体	5団体	5団体			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	生活トラブル等の相談体制の確立事業		相談窓口開設回数	2回 (2回)	2回	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】事業を継続し、住民の相談機会（回数）を確保しつつ、周知活動の充実を図る。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	相談窓口開設回数	2回 (2回)	総務課
	事業概要・目的	取組内容									
総合行政相談窓口の開設 行政・人権総合行政相談体制の充実を図る。 (5月及び10月に実施)		相談を必要とする人がより多く合同相談所を利用することができるように、相談所開設の周知徹底を図る。									
2	防災訓練事業		防災訓練参加者数	700人 (600人)	600人	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】防災訓練の中で自主防災組織等との共助の体制を明確化し継続していく。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	防災訓練参加者数	700人 (600人)	総務課
	事業概要・目的	取組内容									
町民の防災意識向上のために、全町的に防災訓練を年1回実施している。また、職場等での自主的な防災訓練の実施を促進する。		町役場周辺において防災訓練を実施し、町民の防災意識を向上させる。									
3	自主防災組織整備事業		自主防災組織数	8団体 (5団体)	5団体	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】各町内会に働きかけ、平成33年度までに20団体組織する。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	自主防災組織数	8団体 (5団体) ※目標値は累計	総務課
	事業概要・目的	取組内容									
災害時初動対応の迅速化や避難所の周知徹底を図るために、自主防災組織の整備を促進し、地域での自主的な防災訓練等を実施する。		地域住民の防災意識の向上はもとより、地域コミュニティの連携強化を図るため、自主防災組織の整備を促進する。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容	平成29年度					平成30年度		担当	
		重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価	重要業績評価指標 (KPI)		
		評価指標	目標値 (現状値)	実績値				評価指標		目標値 (現状値)
4	災害時要援護者対策事業					2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	380人 (364人)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容	避難行動要支援者名簿登録者のうち支援希望者数	700人 (670人)	364人	A 地方創生に非常に効果的であった	【方針の詳細】 対象者への周知をし、登録者数を増加させるほか、町内会への名簿提供の理解を求めている。			
5	防犯パトロール強化事業					2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	地域防犯パトロール回数	16回 (18回)	総務課
	事業概要・目的	取組内容	地域防犯パトロール回数	16回 (17回)	18回	A 地方創生に非常に効果的であった	【方針の詳細】 県内の犯罪件数は減少傾向にあるものの、子どもが被害者となる犯罪や特殊詐欺等が増えていることから、防犯意識の高揚と巡回パトロールを継続していく。			
6	交通安全推進事業					2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	交通事故件数	55件 (未公表)	総務課
	事業概要・目的	取組内容	交通事故件数	55件 (未公表)	未公表	【方針の詳細】 町の交通事故件数は減少傾向にあるが、高齢者による交通事故等の割合が増加していることから、今後も事業を継続する。	【特記事項】			
7	橋梁長寿命化事業					2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数	24ヶ所 (26ヶ所)	建設課
	事業概要・目的	取組内容	長寿命化修繕計画で補修が必要な橋梁数	26ヶ所 (29ヶ所)	26ヶ所	A 地方創生に非常に効果的であった	【方針の詳細】 定期的に点検・調査し、安全な町の基盤づくりに寄与する。			

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
8	LED防犯灯設置事業		LED防犯灯設置率	100% (99.6%)	100%	A 地方創生に非常に効果的であった	4 予定通り事業終了	A 総合戦略の推進に有効		総務課	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】平成29年度でLED化が完了することから、今後は維持管理事業を継続する。	【特記事項】			
9	弘前圏域消費生活相談体制整備事業		広報等での周知回数	2回 (0回)	1回	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	広報等での周知回数	企画財政課	
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】消費生活に関する広報等周知を継続する。	【特記事項】			
	省エネルギーを推進するために、防犯灯を蛍光灯から消費電力の少ないLEDに取り替える。	防犯灯をLEDに取り替えて、省エネルギーを推進する。									
	弘前圏域の8市町村が消費生活に関する相談等を広域的に連携して行うことにより、住民サービスの向上に資することを目的とする。	相談窓口である弘前市民生活センター（ヒロロ）を周知し、有効活用を促す。									

(4) 快適で住みやすいまちづくり

オールふじさき！みんなでアクション！	指標	計画期間の数値目標			達成状況（実績値）					
		当初	目標		H27	H28	H29	H30	H31	H32
まちの豊かな自然や雄大な景観 みんなでもっと自慢しよう！	■資源ごみ回収量	309t (H26)	340t (H32) ※5年で10%増加		178t	164t	137t			
※資源ごみ回収補助金の単価減 H26年度: 4円/kg → H27年度: 3円/kg → H28年度: 2円/kg										

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標（KPI）			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標（KPI）	
			評価指標	目標値（現状値）	実績値					評価指標	目標値（現状値）
1	巡回バス等交通ネットワーク再構築事業		町巡回バスの利用者数	25,250人 (24,179人)	23,549人	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 今後も既存保有バスの利活用も含め継続して検討を進め、利便性の向上を図っていく。	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効 【特記事項】	町巡回バスの利用者数	25,250人 (23,549人)	総務課
	事業概要・目的	取組内容									
少子高齢化の進行に伴い、買物弱者などの増加が想定されることから、町巡回バスについて、現状の利用状況や地域住民ニーズ等を整理し、問題点や課題を把握することで、町巡回バス等の交通ネットワークを再構築する。		公共施設巡回バスの現状と利用状況を把握する調査を実施し、より良い運行方法等を検討。さらに鉄道等の公共交通との連携等、利便性を高める。									
2	福祉バス運行事業		福祉バス利用回数	155回 (150回)	135回	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 今後も各種団体に活用してもらい、高齢者福祉等をはじめとして、各種の福祉増進のために活用していく。	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	福祉バス利用回数	150回 (135回)	福祉課
	事業概要・目的	取組内容									
社会福祉関係団体の活動促進と地域住民の福祉向上を図るため福祉バス運行事業を実施する。		老人クラブや保育所等の各種団体に利用されており、冬期間の温泉送迎としても有効に活用している。									
3	地球温暖化防止実行計画策定事業		町の事務事業における二酸化炭素排出量	1,752,972 kg-CO2 (1,850,530 kg-CO2)	1,850,530 kg-CO2 ※ 達成率94%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する 【方針の詳細】 役場の公用車ガソリン使用量、庁舎光熱水費等の抑制により、温室効果ガス排出削減に努める。(H29の指標算出係数変更により以後の数値が変更になった)	A 総合戦略の推進に有効 【特記事項】	町の事務事業における二酸化炭素排出量	2,441,789 kg-CO2 (2,466,454 kg-CO2)	住民課
	事業概要・目的	取組内容									
地球温暖化防止のため役場庁舎等から排出される温室効果ガス削減のため取り組むべき計画 町が自ら行う事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出抑制の措置により地球温暖化防止対策の推進を図る。		役場公用車のガソリン使用量、役場庁舎の光熱水費等の抑制により、温室効果ガスの排出量を削減する。									

No.	事業名／事業概要・目的／取組内容		平成29年度				平成30年度		担当		
			重要業績評価指標 (KPI)			事業効果	今後の方針	事業評価		重要業績評価指標 (KPI)	
			評価指標	目標値 (現状値)	実績値					評価指標	目標値 (現状値)
4	汚泥コンポスト化推進事業		汚泥コンポスト化率	100% (100%)	100%	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	汚泥コンポスト化率	100% (100%)	上下水道課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】引き続き汚泥肥料を製造していく。リサイクルのみならず、農業集落排水の普及啓発にもつながり、もって住民の生活の向上に寄与する。	【特記事項】			
5	分別・リサイクル活動推進事業		町民1人当たりのごみ排出量	889kg (998kg)	1,006kg	B 地方創生に相当程度効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	町民1人当たりのごみ排出量	889kg (1,006kg)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】広報等を活用し、分別への協力及び排出方法の指導を実施する。また、小型家電の分別も行う。	【特記事項】			
6	資源ごみ回収運動推進事業		資源ごみ回収率	12.6% (11.3%)	9.5%	C 地方創生に効果があった	2 事業を継続する	B 総合戦略の推進に効果は小さいが有効	資源ごみ回収率	12.6% (9.5%)	住民課
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】資源ゴミの回収について、今後も周知・啓発を図るとともに、報償金の交付による資源ごみ回収の推進を図る。	【特記事項】			
7	人口ビジョン及び総合戦略事業		事業効果がA～Cの割合	80%	90.42%	A 地方創生に非常に効果的であった	2 事業を継続する	A 総合戦略の推進に有効	事業効果がA～Cの割合	80% (90.42%)	地方創生推進室
	事業概要・目的	取組内容					【方針の詳細】施策パッケージにもとづいて、年度毎に実績を検証することでPDCAサイクルを実施する。	【特記事項】			

【別紙】特記事項 一覧

事業No.	事業名	特記事項(評価コメント)	記入者(発言者)	備考 / 担当課コメント等	発言者
基本目標①(1)1	藤崎町地域産業振興拠点整備事業	リニューアル開業後の指標の伸びに期待する。	石澤委員	※ 地方創生拠点整備交付金 活用事業	地方創生推進室
基本目標①(1)2	ふじさき産品開発育成支援事業	目標を上回る成果を出しており、交付金等の財源を有効に活用しているといえる。	藤崎委員	※ 地方創生推進交付金 活用事業	地方創生推進室
基本目標①(1)7	りんご減農薬栽培推進事業	事業実績・効果を上げるためには個々の農家で取り組むのではなく、周囲の協力体制を構築する必要がある。また、生産物を優位に販売できる販売先も設定されなければならない。	石澤委員		農政課
基本目標①(1)8	にんにく優良品種導入事業	ウィルスフリー種子は少ないので、今後も種子確保の事業は必要である。	石澤委員		農政課
基本目標①(1)10	若手農家等育成販路開拓事業	これからの若手農家には、販売ルートの構築・拡大は大事である。生産から販売までの流れを意識した取組をして欲しい。若手農業者の会「ワゲモンド」に限定した支援で良いのかという疑問もある。	石澤委員	【石澤委員とのディスカッション】 作物毎の生産者組織にはJAや各種組合が支援をしています。そうした中で、多様な生産者が交流できる「ワゲモンド」はユニークな会であり、そこに行政が支援する意味があると考えます。支援事業に興味がある農家は個別にワゲモンドに加入していただきたいですし、そのために会独自でPR活動にも励んでいるところです。	農政課
基本目標①(1)12	特色のある地域間連携産品づくり事業	目標を上回る成果となっており、国の交付金等財源を非常に有効活用できている。	藤崎委員	※ 地方創生推進交付金 活用事業	地方創生推進室
基本目標①(1)13	地域6次産業化推進事業	実績を見れば前年度より減っているものの、目標の1.5倍の成果を上げている。継続して効果が得られるように期待する。	藤崎委員	※ 地方創生推進交付金 活用事業	地方創生推進室
基本目標①(2)4	観光人材育成プロモーション事業	国交付金等の財源を活用して着実に人材の養成が出来ている。引き続き有効な取組をしてもらいたい。	藤崎委員	※ 地方創生推進交付金 活用事業	企画財政課
基本目標①(2)5	ふじさき産品PRプロモーション事業	ウェブサイトへのアクセス・閲覧の目標指標が大きく達成されている。引き続き国財源等の有効活用を図って欲しい。	藤崎委員	※ 地方創生推進交付金 活用事業	地方創生推進室
基本目標①(3)1	プレミアム付商品券事業	指標の意味が「地元資本の事業所での利用率」という意味合いとすれば、今後の見直し施策で地域内の事業所や住民に多くの利益がもたらされるように期待する。	藤崎委員		企画財政課
基本目標①(3)2	商店街等活性化イベント事業	施策の見直しによって、地域産業の活性に効果のある事業が展開されるよう期待する。	藤崎委員		企画財政課

事業No.	事業名	特記事項(評価コメント)	記入者 (発言者)	備考 / 担当課コメント等	発言者
基本目標②(1)1	移住・交流促進事業	周知の絞り込みが必要か。 人口減少対策としてUターン希望者等を確保するのは非常に重要。いろいろと試行錯誤をしてもらいたい。	阿部委員 藤崎委員	【担当課コメント】 周知策の前に、実際の相談があった場合の受け入れ体制の構築が必要と考えています。その後、体制に見合った周知策を練っていきます。	企画財政課
基本目標②(2)1	子どもまち歩き事業	子どもの地域への愛着を育てる大切な事業項目。今後も「まつりボランティア事業」として方針等を修正のうえ検証を継続してもらいたい。	藤崎委員		企画財政課
基本目標③(1)1	ふじさき出会い応援事業	イベントへの注目度が低いように感じられる。カップル成立・成婚のプレゼント等を設定してPR促進しても良いのではないか。	吉田委員		住民課
基本目標③(1)1	ふじさき出会い応援事業(質問)	結婚まで至ったカップル数は、何パーセントでしょうか。	吉田委員	【担当課コメント】 現在までのカップル成立数は延べ6組、うち把握している成婚数は0件です。	住民課
基本目標③(2)	安心して妊娠・出産・子育てが出来る環境づくり(14事業)	利用者は幅広い事業を期待していると思われる。個別の事業効果に左右されずに多様なニーズを吸い上げて事業実施してってもらいたい。 例)子育て期間中の仕事探しについて企業側とのマッチング支援 / 子育て世代住民の「自分の時間のつくり方」や「心のケア」施策等	吉田委員		住民課 福祉課 生涯学習課
基本目標③(2)6	子育てサポート事業	子育て家庭は情報が頼りでもあると思うので、ガイドブックが充実していると親は助かる。	工藤委員		住民課
基本目標④(1)4	まちづくり座談会事業	開催回数のみではなく参加者数を目標とすべき。	山本委員	【担当課コメント】 現在、開催形式を再検討しているため、参加者数の目標が立てづらい状況です。今後、目標を開催毎の参加者数に設定する等の検討をします。	企画財政課
基本目標④(1)5	各種審議会委員公募事業	公募手法に工夫が必要。	山本委員	【担当課コメント】 過去に応募者があった案件等を検証して、効果的な公募の方法を検討したいと考えています。	企画財政課